５つの森林活動

みなさまの参加を
お待ちしております

小手澤の森

第１・３日曜日

知足の森

第１・３日曜日

相模湖・嵐山の森
小原本陣の森
草莽荘の森
不定期活動

News Letter

NPO法人緑のダム北相模
midorinodam.jp

No.574-575
エコプロダクツ展に出展しました

【定例活動報告】新年のご挨拶

　新年あけましておめでとうございます。本年も引き続き、緑のダムの活動へのご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。
　コロナの感染が拡大し始めてから３年。その間コロナの変異に伴い感染が増減し、収束の見通しがなかなか見えない状況が続いていますが、コロナを過度に警戒することなく、いかにして通常の生活をとりもどすかという方向も明確になってきています。
　昨年の当会の活動も、コロナの影響を受けざるを得ない面はあったものの、定例活動は休むことなく実施しました。また、従来から行っている地元小学生中心の体験学校、深沢高校インターンシップ・東海大高輪高スーパーサイエンスハイスクールの学生受入、東京ビックサイトエコプロダクツへの出展等も従来通り実施、さらに相模湖わくわくサマースクール、小金井市市民体験受入、アリオ橋本積木レンタル、第48回県民フォーラム「森と

緑のダム北相模は相模原市内で活動する森林ボランティアです。急がず、無理せず、楽しく、休まず、 ボチボチと・・。

水を守る神奈川の挑戦」への当会メンバー参加といった新たな活動もあり、対外向けの効果的な発信も出来たのではないかと思います。

今年度についても、コロナも含めた安全対策を最重点に、定例活動、小原を中心とした相模湖地区との協力に加え、様々な機会を活用し出来る限り前向きに活動し、若い方々には色々な経験をしていただけたらと思います。

最後になりましたが、当会の存続と活動維持のためには、当会活動を支援して頂いている団体のご支援が欠かせません。厳しい環境下とは思いますが、引き続きご支援ほどよろしくお願い申し上げます。

川田　晃（本会、代表代行）

【定例活動報告】知足の森

第１日曜日の午前は木を三本と伸び放題の竹を伐採しました。初めての参加で分からないことだらけでしたが、先輩や地元の中学生の方々と交流しつつ、たくさんの事を教えてもらいました。道具の説明や切り方の説明などをしてもらえたのですぐに理解することが出来ました。

午後は、竹林の掃除を行いました。細い竹や、要らない草などを切りました。午前の木に比べ少し楽でしたが量がたくさんあったので、寒いのに体がポカポカしました。薪割りもしました。木が湿っていたり、地面が緩かったりして、想像以上に難しくて疲れました。薪割りの際、軽傷者が出てしまったので以後気をつけたいです。来月も楽しみです。

GREEN TECH ENGINEER LAB
中学１年生女子

第３の活動では、午前中は竹林の整備、午後はたき火を行いました。また、午前中の中でも前半後半に分かれました。私は前半に竹を切りました。竹を切る時は、軽く倒したい方向に押しながら倒すとうまく倒れるというコツを聞きながら協力して切りました。竹は比較的まっすぐに生えるものですが、よく見ていると上の方で曲がっています。さらに、しなりやすいためうまい方向に倒さないと引っかかってしまいます。今回も、数本引っかかってしまいましたが、声かけをしながら引っ張って倒しました。これから春になり、どんどん竹が増えていくと思うので今回の経験を生かして工夫しながら切りたいです。

後半は果樹園の道を掃除しました。熊手や箒を使って葉っぱを掃きました。元の状態と比べると、かなりきれいになったので、とてもすっきりしました。

午後のたき火では、ライターを使って火をつけ、マシュマロを焼きました。燃えやすい葉っぱを教えていただいたりしながら火をつけました。木に関する知識があると、いろいろなことに応用できると感じ、自分でもっと調べてみるようにしようと思いました。

GREEN TECH ENGINEER LAB　中学１年生女子

【GREEN TECH ENGINEER LABの活動から】

１２月はエコプロダクツ展をはじめ、小金井市公民館若者自主講座、東海大高輪台高校SSH受入れ、地元の方にご協力いただいてセンダンの種取りを行いました。エコプロ展では、普段の活動の報告ポスター、活動紹介ビデオの作成、さらに製作物については現物の展示を行いました。

参加した中学生からは「現地では主に他ブースの見学をしてきました。こんなにもたくさんの団体が環境について取り組んでいるのだと知り、とても驚きました。中にはゼブンイレブンなどの大手企業や私たちと同じように木を有効活用しようとしている団体もたくさんあり、各団体が作ったものを配っているブースもありました。木を家具にして展示している団体もあれば、木から歯ブラシを作ってそれを展示している団体もあり、木一つでもたくさんのの使い方・制作の仕方があるんだなと思いました。今後何を作るのか考える時に参考にしたいです。最後になりましたが、東京ビックサイトは本当に広くてすごかったです！私たちの日々の一つ一つの活動が公のイベントで周知できるような意味のある活動だと思うことができたので、今後の活動にもより力を入れて頑張ろうと思えました。」のコメントをもらいました。多くの方に活動を紹介することができました。（次ページに続く）

桜井尚武の森のコラム

「イイギリ(*Idesia polycarpa*)」

図1　イイギリの葉

20181202 小石川植物園

図2　イイギリの樹形

20181118 嵐山

図3　イイギリの果実

20151115 嵐山

図4 鮮やかなイイギリ果実

20221225 昭和記念公園西立川

イイギリ科の樹高20mにもなる落葉の大高木(図1)。葉は互生し20cm位と大きく基部は浅い心形、アカメガシワの葉に似ますが表面のザラツキが目立たず雌雄異株。葉の基部から中肋をはさんで2本の目立つ側脈が走ります。赤色の葉柄が長く、基部や葉柄の中間にソメイヨシノなどのサクラに似た顕著な蜜腺があるのが普通です（図1）。イイギリは漢字で飯桐と書きますがキリに似た葉で飯を盛ったり包んだりしたことに由来するといいます。

嵐山の昔の活動基地の水源に当たる辺りに比較的大きなイイギリの木があります。幹のほぼ同じ位置から数本の枝が出てそこから少し幹を伸ばしてまたその頂点に数本の枝を出すというミズキ型の階枝を展開させる特異な樹形をよく観察できました。この木は雌木で果実も見事です（図3）。

材は見かけの比重が0.5以下と針葉樹並みに軽く軽軟ですが扱いやすく器具や家具などに使われました。本州以西の日本各地、朝鮮、中国、台湾の山地帯下部に比較的稀に分布するとされ資源量は多くありませんが、その分布する地域では重宝されたようです。

果実は10月末頃から赤く熟した液果を葡萄の房状に垂れ下がらせて見事です。この赤い果実は落葉後も長くついたままでおり小鳥たちの冬場の餌になっているようです（図4）。これを愛でるために人家の近所に多く植えたという記載があり、山中では稀ですが人家周りでは結構出会えるといいます。この実は食べられますが美味しいものではないそうです。

桜井　尚武（本会、会員）

今日は小学生を対象にクリスマスリースを作ろうという講座を開いた。私達が間伐した木を加工し、その木を使ってリースを作ることで木の持つ良さを知ってもらうという企画だ。説明が終わったあとリースづくりに入った。みんな思い思いのリースを作っている。ずっと準備してきた企画だからこそ全員に楽しんでもらいたい。その一心でたくさん話して、サポートした。大変だったのは下穴を開ける作業だ。これは小学生は危ないので、私達が開ける必要がある。下穴を開けたいときは声をかけてね、と言っても小学生からすると言い出しにくい。だから私達が気づく必要があるのだ。だからといって、ずっと横で見たり話しかけると、小学生も作業しにくい。そう思い、時に少し離れたところから見守った。下穴を開けるときはそっと近寄り、ドリルで開けた。失敗できないため緊張したが、準備でたくさん開けてきたのでスムーズに、正確に開けることができた。今回の講座でどれくらい伝えたかったことが伝わったかはわからない。でも、楽しんでくれたことが嬉しかった。このような活動を続けて日本の森について、木の持つ良さについて、広めていかなければいけない。これから未来を担う私達が変えていくために実際に体験することが大切だと感じた。　GREEN TECH ENGINEER LAB　中学２年生女子

NPO法人
緑のダム北相模

名称：特定非営利活動法人　緑のダム北相模
現地事務局：〒252-0172　相模原市緑区与瀬本町12　かどや食堂内
支援団体：セブン-イレブン記念財団
積水ハウスマッチングプログラム、国土緑化推進機構
コンサベーション・アライアンス・ジャパン
協働団体：神奈川県、相模原市、麻布大学、マルモ出版、
東京学芸大学環境教育研究センター、
（社）東京学芸大EXPLAYGROUND推進機構、
（社）さがみ湖 森・モノづくり研究所、ウッドバンク㈱

参加にあたって：

初参加者は、9時15分までにJR相模湖駅前に集合です。服装、持ち物については、汚れても良い服装、着替え、滑らない靴　成るべく皮製手袋、万一の怪我に備えて保険証、飲料水、主食、昼食

危機管理・救急対応：

危険管理・救急体制・森林ボランテイア保険の準備の他、会として可能な限りの体制を敷いていますが「怪我・事故は、自己責任」です。

緑の募金
一般財団法人 セブン-イレブン 記念財団
SEKISUI HOUSE MATCHING PROGRAM
CAJ Conservation Alliance Japan 一般社団法人 コンサベーション・アライアンス・ジャパン